

鬼怒工業用水道事業の料金の計算例について

1. 料金単価について

月間の基本供給水量は、承認された1日当たりの基本供給水量(契約水量に相当します。)に使用期間の日数を乗じて算定するものとし、実供給水量(実際の使用水量)及び超過水量については、計量器の値を適用するものとします。

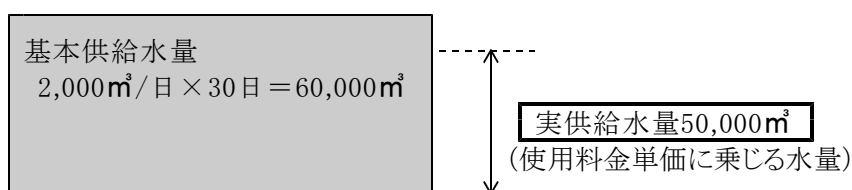
なお、各料金単価は、次のとおりです。

基本料金単価	49.39円/m ³
使用料金単価	8.96円/m ³
超過料金単価	101.34円/m ³

2. 料金の具体的な計算例(1ヶ月当たり)について

(1) 超過水量がない場合

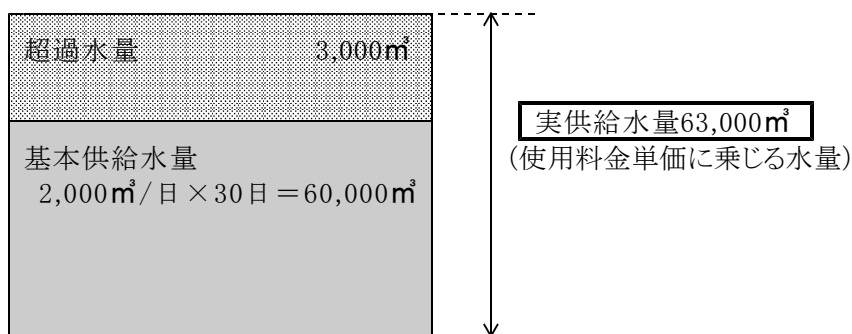
基本供給水量(契約水量)2,000m³/日で、使用期間を30日、実供給水量(実際の使用水量:流量計で積算した値)50,000m³、超過水量0m³の場合における料金は、次のとおりです。



$$\begin{aligned} \text{1ヶ月の料金} &= \text{基本料金} + \text{使用料金} + \text{消費税及び地方消費税相当額} \\ &= (2,963,400 + 448,000) \times (1.10) = 3,752,540 \text{円} \\ \text{基本料金} &= 49.39 \text{円/m}^3 \times 60,000 \text{m}^3 = 2,963,400 \text{円} \\ \text{使用料金} &= 8.96 \text{円/m}^3 \times 50,000 \text{m}^3 = 448,000 \text{円} \end{aligned}$$

(2) 超過水量のある場合

基本供給水量(契約水量)2,000m³/日で、使用期間を30日、実供給水量(実際の使用水量:流量計で積算した値)63,000m³、超過水量3,000m³の場合における料金は、次のとおりです。



$$\begin{aligned} \text{1ヶ月の料金} &= \text{基本料金} + \text{使用料金} + \text{超過料金} + \text{消費税及び地方消費税相当額} \\ &= (2,963,400 + 564,480 + 304,020) \times (1.10) = 4,215,090 \text{円} \\ \text{基本料金} &= 49.39 \text{円/m}^3 \times 60,000 \text{m}^3 = 2,963,400 \text{円} \\ \text{使用料金} &= 8.96 \text{円/m}^3 \times 63,000 \text{m}^3 = 564,480 \text{円} \\ \text{超過料金} &= 101.34 \text{円/m}^3 \times 3,000 \text{m}^3 = 304,020 \text{円} \end{aligned}$$